

～稲わらビジネスを経営の柱のひとつに～

県では、稲わらを有効利用するため、畜産飼料として収集・販売する「稲わら収集技術体系マニュアル」を作成しました。

稲わら収集の収益性調査結果の概要と高品質な稲わらロールの生産技術の一部を紹介します。

稲わら収集事業者の収益性について

《注意》

- 令和元年度、県内6組織の収益性に関する調査
- 今回の試算に用いた数値は、調査結果の平均値です。
- 経費は、主に収集作業に携わっている人件費、燃料費、修繕費、稲わらロールのネット代等の諸経費、主な使用機械の減価償却費を算入しており、**保管に係る設備費は含めていません。**

調査組織の概要

- ・面積規模 5ha～116ha
- ・主要装備（3戸平均）
 - 大規模生産者
 - ・トラクター3台程度所有（60馬力～100馬力）
 - ・レーキはツイン、シングル1台ずつ所有
 - ・ロールベアラは1台～2台所有（1.2m×1.2m）・バールグラブは2台所有
 - 小規模生産者
 - ・トラクター1台～2台所有（30馬力～60馬力）
 - ・ロールベアラ（50cm×70cm又は120cm×120cm）1台所有
 - ・レーキはツイン1台所有



結果

	規模 (ha)	売上 (万円)	経費 (万円)	利益 (万円)
大規模生産者	105	1,070	455	612
小規模生産者	16	105	82	23

裏面は、「商品としての稲わら」にするための収集技術です。

新たに始めてみたい方は、青森県稲わら流通促進会議事務局青森県食の安全・安心推進課までお問い合わせください。

お問い合わせ 017-734-9353

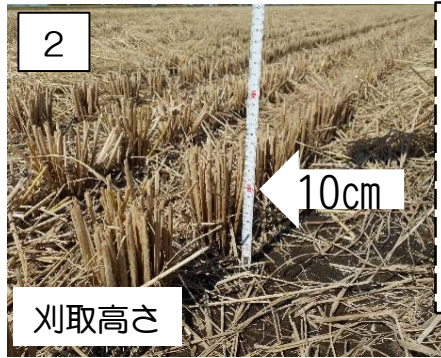
「商品としての稲わら」を生産するための収集作業の流れと留意点



1

収集作業の際、大型機械が入れるよう、ほ場の水はけをよくする溝切りは、積極的に行いましょう。

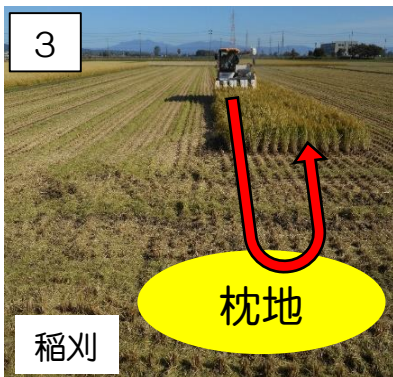
溝切り



2

稲わら収集時に土砂混入を防ぐため、コンバインの刈取高は、10cm以上確保しましょう。

刈取高さ



3

稲わらをコンバインのローラーで踏みつけないよう、外周を3周程度刈り取ってから、枕地をUターン場所として利用しましょう。

稲刈

枕地



4

ロータリーレーキによるウインドローは、稲わらの乾燥を行うことができるので、必ず行いましょう。

集草

ウインドロー



5

梱包には、可変式（芯巻き）と定型式（側巻き）があります。それぞれの特徴を確認し、選択しましょう。

梱包



6

ネットを傷つけないベールグラブで作業を行いましょう。機械等との接触でネットが裂けないように、周囲に注意しましょう。

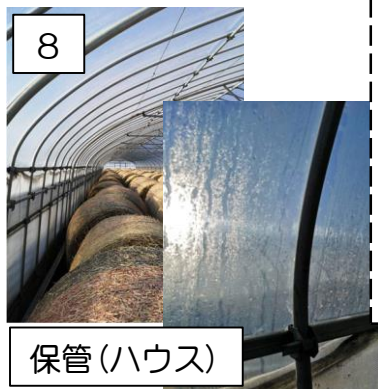
運搬



7

一番下の稲わらロール水分が高くなるので、注意が必要です。パレットの上に積み上げる等の対策をしましょう。

保管(倉庫)



8

換気作業が重要です。晴天の時にハウスの換気を行わないと、水滴が発生し、その水滴がカビの原因となるので積極的に換気を行いましょう。

保管(ハウス)